

この度はお問い合わせいただき、誠にありがとうございます。ハワイは豊かな自然と一年を通して寒暖差のない穏やかな気候に恵まれています。そして何より人々の笑顔にあふれるアロハ・スピリッツが、“癒し”の心であなたをもてなし、きっとあなたを幸せな気分にしてくれることでしょう。さらに、ハワイの医療レベル、安全（清潔）レベルは、日本とかわらず、日本語を話す医療スタッフも働いていますので、海外旅行での臨時透析を考える上で、ハワイは最も適した海外旅行先（観光地）といえるのではないのでしょうか。ぜひ、ハワイでのゆったり流れる時間の中で、心身ともにリフレッシュしていただきたいと思います。

つきましてはこちらのご案内をよくお読みいただいた上で、手続きを始めていただけますようお願い申し上げます。

ハワイの透析センター（FMC—North America）に関するご案内

Liberty-Dialysis Hawaii(正式名称：FMC North America)はフレゼニウス メディカル ケア<FMC>というドイツに本社がある世界屈指の透析医療機器メーカーが運営する透析センターです。このFMCの透析センター（ハワイでは呼称として：Liberty-Dialysis Hawaii）はハワイ州だけで26箇所の透析施設があり、ハワイ州では最大規模のネットワークとなっています。すなわちハワイ島、マウイ島、カウアイ島などのオアフ島以外の他島でも透析を受ける事ができます。（他社利用の“カパフル透析センター”などUSRC社系透析センターはオアフ島にしか透析センターがなく、他島では透析ができません。）

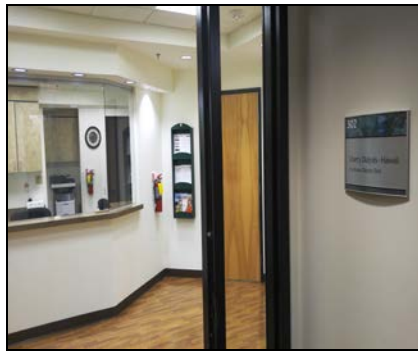
<施設の特徴> オアフ島滞在時に利用する“アラモアナ透析センター”に関して

- ・ **観光客専用（日本人に特化）の“プライベート”透析センター**です。（透析チェアは3席のみ）
- ・ 2017年9月に開設された、ハワイ州内で最も新しい透析施設です。
- ・ プライベート（現地患者が通院していない）透析センターですので、早朝6:00から夜17:00までのお客様にマッチしたスタート時間を（もちろん土曜日も）選択可能。＜基本的には7:00&12:00&16:00の選択＞ 尚、最終的なスタート時間はハワイ透析日の1週間前に最終調整されます。
- ・ 常時2名以上の病院スタッフ（日本語が話せるスタッフが優先的に配属されます）が常駐していますので、マンツーマン（患者1名対スタッフ1名）のVIP体制にて、透析治療が受けられます。
- ・ 弊社 Trahel-Hawaii LLC のオプションで“コンシェルジュサービス”をご利用いただければ、“**必ず**”（もし、日本語を話せる上記病院スタッフが休暇の場合でも）**透析時間中、常時 弊社スタッフが帯同し、日本語で（見守り、通訳、介助等々）フルサポート対応します。**

- ワイキキから車で 10 分程度のハワイで最も開発が盛んなカカアコ地区に位置し、アラモアナ・ショッピングセンターや市内中心部（ダウントウン）の中間地点ですので、各種アクセスに便利です。
- 患者専属担当医師（ハワイ腎臓内科医：Dr.Sugihara & Dr.Wong）との連携による信頼と安心に加え、緊急時、搬送されるハワイで最大の総合病院クインズ・メディカル・センターから最も近い透析センターです。（徒歩 7 分）
- 個別 17 インチモニターによる個別の TV 放送（日本語放送有り）、DVD 鑑賞が可能。
- 室内温調が可能ですので、他の透析センターで体験する極度の寒さはありません。
- リクライニング式（フル・フラット対応）透析専用チェアを使用。
- 施設内の WiFi サービスを利用して透析治療中にインターネットを無料で利用可能。



<透析センター内の様子>



<透析センターの入口>



<日本語のできるスタッフ>

(Liberty-Hawaii の他の透析施設に関して)

- ハワイ島・マウイ島等に同一会社の透析施設が 26 箇所あり、これら他の施設でも透析可能。
- 透析装置やダイアライザーを製造する医療機器メーカーである FMC（世界 No.1）が透析センターを経営（親会社）していますので、グローバル・スタンダードの機器環境下で透析治療が受けられます。

ハワイで透析をするにあたって

<事前確認>

まずはお申し込みからハワイ透析までの流れを、“ハワイ旅行を計画されるにあたっての手順”（別書類）でご確認ください。**申込時、必ず下記の項目に関してご理解頂いた上でお申し込みください。**

- お申し込み前に必ず日本の担当医師にご相談の上、ハワイ旅行の許可を頂いてください。ハワイの透析センターの仮予約が取れましたら日本の担当医師にお客様の透析医療情報提供（VPP）書類を記入して頂く事になります。

- 病院の予約は基本的に6ヶ月前から受付けてくれます。但し、ホノルルマラソン、結婚式等々特別な用事がある場合はそれ以前でも予約を受け入れてくれますので弊社にご相談ください。
- 透析当日の1ヶ月前までにお申し込みいただくことが基本となっておりますが、それ以後でも、条件によっては特急処理（別途料金）で対応可能な場合もあります。まずは弊社にご相談ください。
- 旅行を計画される際は、まずハワイ透析の予約（仮予約）が取れてから、旅行の最終予約をされる事をお勧め致します。透析の予約が取れない場合など、ご旅行関係のキャンセル料に関して弊社では責任を持つことはできませんので、予めご了承ください。
- 感染症がある方（B型肝炎、結核の抗原をお持ちの患者様）は受け入れの制限がありますので、事前にご相談ください。（この事前報告で虚偽があると受け入れられません！）
- ハワイ島やマウイ島など、他島での透析手配も可能ですが、他島の施設には各種制約条件があります。まずは弊社にご確認の上、お申し込みください。
- お申し込み内容、医療情報等に変更があった場合は、必ず書面にて変更内容をご連絡ください。
- 透析センターでは食事は提供されません。また治療室内では感染予防対策の観点から基本的に飲食は禁止されておりますので、透析前後でのお食事をご計画ください。
- ハワイ滞在中の経口薬（常用内服薬）は必ず日本からお持ちください。ハワイの透析センターでは一切経口薬の処方はありません。内服薬の処方をご希望の場合は、別途ハワイの医療機関で医師に処方箋を依頼し、ドラッグストアにてご購入頂く事になります。（別途費用が必要）
- 透析中の投与薬（エポ等）やペパリン等は透析センターで在庫している決められた（製品の）薬しか使うことができませんので、予めご了承ください。
- ハワイと日本は時差が19時間ありますので "ハワイ旅行 透析スケジュール" をご確認後、担当医師とご相談の上、透析日時を決めてください。当透析センターは日曜日休みです。
- 注射針は日本と違い、18ゲージのステンレス製が一番小さいサイズの針となります。またカニューーラ（留置）ニードルはハワイで使用されていませんので、透析中 腕を動かさないようにご注意ください。また、日本からのダイアライザー・注射針の持ち込みはできません。
- 透析センターの処置室には許可を受けた人しか入室できません。ご家族の方で同伴を希望される方は透析センター待合室で待機する事になります。但し、患者の入室&退室時に介助が必要な場合は、家族の方1名のみがその時だけ（2~3分程度）治療室の入室が許可されます。尚、Trahel-hawaii LLC社のスタッフは正規に入室が許可されておりますので、付添いが可能です。

<透析費用> 以下の費用は事前にご確認ください！（価格改訂がある場合があります。）

病院費用（1回の治療費の目安です。すべての予約が完了すると、正式の請求書が発行されます。）

透析費 \$630/回（本料金は Trahel-Hawaii LLC 社経由でお申し込みをいただいた場合の特別割引料金です。）1回あたりの透析治療で、透析に必要な器具・投薬等が全て含まれます。

診察費 \$35/回 ハワイ側の担当医師への1回あたりの報酬です。

*透析治療費は、Honolulu（ホノルル）地区の透析センターの場合のみ、最初の透析日に直接透析施設にてお支払い頂きます。お支払いは現金又はクレジットカード（JCB,VISA,MASTER のみ）となります。

医師への診察費は**現金のみ**でのお支払いです。この代金は弊社が代行徴収しますので現金を当日担当者にお渡しください。

尚、ホノルル以外（ハワイ島やマウイ島等の透析センター）で透析を受けられる場合は事前にクレジットカードにて Deposit（担保補償）処理されますので、請求書が発行された段階でお客様のクレジットカード情報を提供して頂いております。

<透析費用の還付に関して>

ハワイで透析を受けた場合、上記透析費用は一旦“全額”自己負担にてお支払頂きますが、ご帰国後に各種健康保険（国保・社保）の“海外療育費支援制度”+“高額療養費支援制度”を利用する事により一定の基準で算定された金額が還付されます。この制度を申請する時にハワイ側で必要となる必要書類は翻訳書類を含めて弊社にてご用意いたします。

尚、詳細に関しては一度、ご自分の通院されている病院のソーシャル・ワーカーにご確認ください。

<医療費控除>

海外での医療費は確定申告で医療費控除の対象になります。（詳しくは税務署にご相談ください。）医療費控除に関しては「治療費以外に看護師等に依頼した療養上の世話の対価」--<弊社申込金を除く「基本料金」=ドル部分に該当> 更に、「病人の付添いを頼んだ場合の療養上の世話に対する対価に加えて、診療等を受けるための通院費、送迎費等」--<弊社各種「オプション」に該当> も含まれます。

<海外旅行保険>

ハワイでの透析費用は海外旅行保険では支払われません。また、一般的に既往歴のある病気に対しても同じです。但し保険会社によっては既往症（=持病）の悪化（例：腎不全や糖尿病に関する処置）などが一部対象になるオプションがありますので渡航前の加入をお勧めします。詳しくは各海外旅行保険会社にお問い合わせください。

Liberty-Hawaii (FMC) 社 正規代理店 Trahel-hawaii 社ご案内



Trahel Hawaii L.L.C. (<http://www.trahel.com>)

住所 : 500Lunalilo Home Rd.#43E Honolulu, HI 96825

代表 : Kenji (Masahiko) YADA E-Mail; kenji2@trahel.com

Tel:1-808-277-7123 Fax:1-808-395-6243 <日本事務所 080-3655-0881>



<弊社スタッフ>

弊社、代表の矢田（下記の資格保有）を含め 日本の元透析看護師、現地日本人移植コーディネーター、日本人ドライバー等 専門スタッフがお客様のハワイでの滞在をサポート致します。



日本人 元透析看護師



日本人 移植コーディネーター

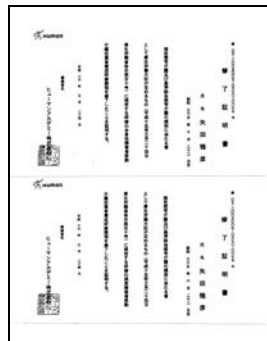


日本人 ドライバー

弊社は**創業（2006年）依頼 Total : 1,000 名様以上の透析患者をお世話してきた実績**を持ち、ハワイで透析の手続きから医療支援まで提供できる”透析の専門家集団”として、旅行代理店では得られない専門的なサービスを提供できると自負しております。何かご不明な点がありましたら、いつでもお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。



アメリカの看護師資格証書



日本の介護師資格証書



ハワイのタクシー免許